

キューピー株式会社



〈問合せ先〉 キューピー株式会社

ロジスティクス本部 推進統括部 岩田 真一 03-3486-3069
(メディア関係の方 広報部 田中 友紀 03-3486-3051)

取組概要

物流面

無駄のない配送の構築：無駄のないコース、高い車両効率、納品時間短縮

①混雑・規制を避ける

交通規制の条件を特定し、
混雑・規制される
コース、時間帯、日を
極力避けた配送を工夫する
効率的にお届けするため

着荷主様に対して啓発

- ・事前のご注文
- ・制約のある配送 を行う
(時間指定不可、早朝、深夜など)

②翌々日納品

確実なお届け

- ・配送車両の効率化

- ・中1日を利用し、
臨機応変に調整

③簡易な検品レス

ASN(事前出荷情報)活用

荷受業務の省力化

- ・ドライバー負荷軽減

- ・納品時間の短縮
- ・素早く荷下ろし、戻る

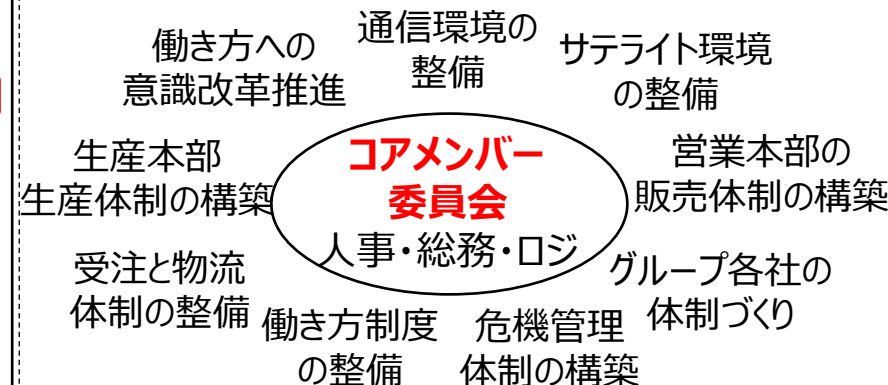
全てのお客様にお届けできるよう、行政・業界と
連携し、加工食品物流を効率化・強靱化

実施内容

- ①重点取組地区をまたぐ4ルートで、**時間帯をずらし**配送影響を確認
→混雑回避の効果と、発着拠点での備え(・課題)が明らかになった
- ②**18年お盆から繁忙期毎に実施**。車両確保が厳しい中、お届けできた
- ③**運用方法を固め、テスト実施、検証**。荷受業務の省力化へ

人流面

2020年夏の交通混雑緩和に貢献すべく、
準備委員会を設立



実施内容

- 働く**時間**の柔軟性
 - ・フレックスタイムの実施
 - 働く**場所**の柔軟性
 - ・在宅勤務
 - ・テレワーク
 - ・サテライトオフィスの活用
- を実施

2020年夏に向けて、最も効率的な
働き方を一人ひとりが考え、活用できるようにする

啓発活動

上記の取組をスムーズBizキックオフイベント や ロジスティクスカンファレンスにて紹介

シックス・アパート株式会社



〈問合せ先〉

シックス・アパート株式会社 広報担当 壽 (ことぶき)
03-6261-4640 / pr@sixapart.jp

取組概要

出社不要の働き方 SAWS



必要な時のみ出社。地方への移住が進み、他社・自治体との連携も。

- **社内推進**: 2016年夏のEBO（従業員買収）による独立時、以前の1/3サイズのオフィスへの移転とともに開始。半期で4千万のコスト削減に繋がる。

- **自由な働き方を支援**: 業務環境作りのための手当（1.5万/月）を全社員一律で支給。

- **目的は個人のQOL向上**: 残業時間はSAWS開始以前より少なかったため変わらず。通勤が無くなりQOL向上に。

各地で働く社員

都外在住、帰省・旅行先でのワーケーション



「必要な時のみ出社」の対象は全社員。
出社は月1-2回程度のため、社員の半数以上は長野、茨城、群馬など都外に在住。
帰省や国外旅行中のワーケーションも頻繁に実施。

普及啓発〈自治体〉

青森県や秋田県大館市などの

自治体とテレワーク推進の取組を実施



2018年6月
青森の中学生向け
キャリアセミナー
@神保町オフィス

2019年8月
高校生向け
Web制作講習会
@青森商業高校

2019年8月
秋田県大館市サテライト
オフィス事業に参加し
現地で子連れワーケーション

2019年8月
セミナー開催
北鹿新聞に掲載

災害時事業継続（BCP）

サイト安定運用を支援

当社の主要製品であるウェブサイト構築システム「Movable Type」は国内各地の自治体や省庁で利用されている。緊急時こそ重要なウェブサイトの安定運用を支えるのは当社の責務。

クラウドを活用し社員の安全確認と事業継続の仕組みを構築することで、災害時にも利用者サイトの継続的な情報発信を支援。



東急株式会社



東急



東急電鉄

〈問合せ先〉

東急株式会社 人材戦略室 労務企画グループ
03-3477-6138

取組概要

取組内容・運用上の工夫

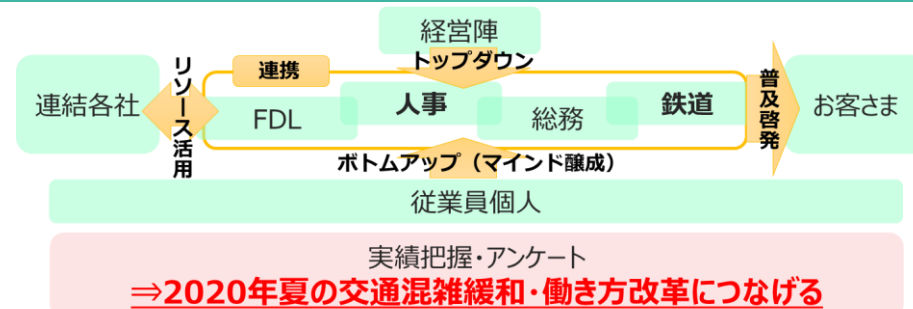
- ・スマチョポイント累積者への特典配布
 - ・ワーケーションイベントなど働き方の選択肢の拡充・浸透
- ⇒**総合的・継続的に柔軟な働き方を選択できるきっかけ作り**



- ・オフピーク乗車、シェアオフィスの早朝利用等で特典付与
 - ・朝活講座の実施
- ⇒**通勤時間帯の多様なスタイルを提案**



社内推進体制



効果・実績

従業員	・スマートチョイス浸透率	83%
	・朝方勤務実施者	1日平均160名
	・テレワーク実施者	1日平均121名
	・休暇取得者	1日平均143名
お客様	・時差Biz臨時列車	約1,800名/日 (2路線合計)
	・臨時列車乗車特典付与	約2,700名 (8日間合計)
	・オフピーク活動参加者	1.3倍 (前年同月比)

2020年夏に向けた取組

- 従業員へ都心への出社を可能な限り避ける働き方を選択するよう働きかけ
- お客様へオフピーク通勤に向けた鉄道会社ならではの施策・働きかけ

⇒**お客様と従業員双方に働きかけ、2020年夏の交通混雑緩和に貢献**

従業員

お客様

東京地下鉄株式会社



〈問合せ先〉

東京地下鉄株式会社 広報部

中川・山口 03-3837-8277

取組概要

時差Bizに関する取組

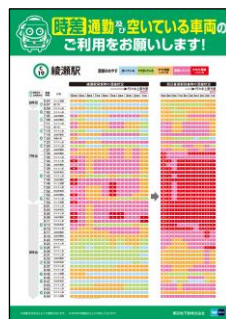
1 オフピークプロジェクトの実施

- (1) 東西線オフピークプロジェクト
- (2) 豊洲、新橋オフピークプロジェクト



2 臨時列車の運行

日比谷線、半蔵門線、南北線で
計5本の臨時列車を運行



3 混雑の見える化

「東京メトロアプリ」、東京メトロ
ホームページで混雑状況を掲出

4 その他の取組

- サテライトオフィスサービスの実証実験
- キッズルーム併設ワークスペース「room EXPLACE」における料金割引キャンペーン実施
最寄駅：東西線東陽町駅、門前仲町駅
- アウトドア・フィットネスクラブ「greener」における朝活レッスンの実施
最寄駅：東西線妙典駅



ワークブース 外観



room EXPLACE 内観



greener 内観

自社社員の取組

時差始終業及びテレワーク取得の促進

- (1) 本社部門における期間中の取得促進
- (2) 一部現業部門におけるトライアル

TDMに関する取組

2020年夏に向けた会場最寄駅でのオフピーク施策

- ・東京ベイゾーン：月島、辰巳、新木場
- ・スタジアムエリア：外苑前、青山一丁目、北参道、明治神宮前



日本電気株式会社



〈問合せ先〉

日本電気株式会社 カルチャー変革本部
宗 由利子 smartwork@rise.jp.nec.com

取組概要

・テレワークの実践

日	月	火	水	木	金	土
7/14	15 海の日	16	17	18	19	20
21	A 22	23	24	25	26	27
28	B 29	30	31	8/1	2	3
4	5	6	7	8	9	10
11	12 夏休み 山の日	13	14	15	16	17
18	C 19	20	21	22	23	24
25	D 26	27	28	29	30	31
9/1	2	3	4	5	6	7

A~Dから選択して連続1週間在宅勤務

実施概要

- 目的：東京2020大会期間の働き方を予行演習
 - ✓ 働き方改革の推進・定着化
 - ✓ 東京2020大会期間に向けた課題の洗い出し
 - ✓ BCPを想定した働き方実践と課題洗い出し
- 原則、全社員が連続1週間の在宅勤務を実施
- 周辺事業場に1,800席超の終日利用可能なサテライトオフィスも用意
- 一部派遣元会社との覚書締結などにより、派遣社員のテレワークトライアルを実施

結果

- 参加人数：NECグループ全体 41,286名
NEC 16,495名（社員の8割以上）
- 5日連続 or 5日以上実施した人：
 - ✓ NECのテレワーク実施者の51%



・物流のトライアル

実施概要

- チャレンジウィークのTSM*試行への参加

*交通システムマネジメント

結果

- 東京都内一部配送便の出発時間を早め交通混雑を回避
- 幹線着時間と幹線中継では概ね定時刻に到着を確認
- 交通混雑に伴い影響するエリア・ルートを特定

その他

- G20大阪サミットにて期間中の交通規制に対応し、納期変更等により期間中の出荷量を50%削減（前年比）
- 事前準備により効果的に出荷をコントロールできることを確認

〈社内推進体制〉

- ・人の流れへの対応：働き方改革担当部門
- ・物の流れへの対応：サプライチェーン担当部門
- ・顧客との調整：営業部門

〈運用上の工夫〉

- ・毎月のSmart Work Weekで環境整備促進とテレワークしやすい雰囲気づくり
- ・セミナーを実施し啓発・理解促進
（テレワーク未経験の社員・サプライチェーン関係各社・お客様）

アサヒビール株式会社



〈問 合 せ 先〉

アサヒビールグループホールディングス株式会社 応報部門

電話 03-5608-5126

取 組 概 要

東京2020大会開催期間中の交通緩和の取り組み 物資の移動は3割以上の分散・削減を目指す ～テレワークやフレックスを活用し、**人の移動の削減**も目指す～

- 1.実施項目
 - ・物資の移動に関わるもの：物資の移動における分散・削減のシュミレーション
 - ・人の移動に関わるもの：社員のテレワーク推進
- 2.実施内容
 - ・物資の移動：2020年の大会期間中、物資の移動の3割以上の分散・削減を目指してシュミレーションを行う。
 - ・人の移動：2020年夏に向け、本年期間中に本社内勤者462名を対象に、テレワーク推進期間の取組を案内し、ポスターでも周知。
推進期間終了後にアンケートを行い、テレワーク拡大に向けた環境整備に活用。
- 3.ポイント

1都4県での原材料や商品など物資の移動において、大型トラック台数を3割以上の削減・分散を目指すため、

 - ・東京港で受入している原材料の一部や輸入商品の大部分の受入時期を前倒しする。
 - ・輸入商品の受入港を東京港以外へ変更する。
 - ・東京港から茨城工場へ搬入している原材料、工場から都内配送センターへの転送および該当エリア内のお得意先様への配送をピーク時間帯以外へ変更する。

e-Janネットワークス株式会社

e-Jan

〈問合せ先〉

e-Janネットワークス株式会社 経営管理グループ
佐藤香織 03-6691-1186

取組概要

1. 人の流れに関する取り組み

- ・ 全社員のテレワーク実施

2. モノの流れに関する取り組み

- ・ 納品書類のペーパーレス化

3. テレワークの普及、啓発に関する取り組み

- ・ 製品無償提供キャンペーン
- ・ 実施ノウハウの社外発信

〈会社紹介〉

設立：2000年3月6日

事業内容：

テレワークプラットフォーム

「CACHATTO」の

企画/開発/販売

従業員数：93名(19年10月)

〈社内推進体制〉

- ・ 「**テレワーク推進チーム**」が中心となって社内推進

全社員
テレワーク
実施

納品書類
ペーパー
レス化

無償提供
キャン
ペーン

実施
ノウハウ
社外発信

運用上の特徴と工夫

- ・ スムーズBiz、テレワーク・デイズ2019に参加/実施目標設定/2ヶ月前から準備
- ・ コワーキングスペース利用手配/フレックスタイム制の導入

- ・ 紙の納品書類をメール送付/DVD納品データをダウンロード形式に変更/自社でシステムを開発

- ・ 自社製品「CACHATTO」のトライアルキャンペーンを実施

- ・ 自社のテレワークに対する取り組みをWebサイトに掲載(社員インタビューなど)

実績と効果

- ・ 実施率：
98.8%

- ・ 郵送件数：
約100件/月
↓
5件/月に

- ・ 申込件数：
90件

- ・ 掲載記事：
7件



取組に関するブログより
<https://www.e-jan.co.jp/workstyle/?catid=5>



CACHATTO®
CACHATTO製品情報
<https://www.cachatto.jp/>

※中央官庁・自治体・民間企業など累計53万ユーザー利用

2020年夏に向け、テレワークのモデルケースを目指して全社的に取り組みを拡大
定期的/継続的にテレワークを実施可能な環境を作り、社外への積極的な情報発信にも取り組む

オリンパス株式会社

OLYMPUS

問合せ先

オリンパス株式会社 人事 ダイバーシティ
沖元 享正 03-3340-2284

取組概要

1. 人の流れに関する取組

- 管理職から率先した在宅勤務取得促進
- フレックスタイムによる時差出勤

「朝イチ・Go!! フレックス運動」

- 年休計画化と5日間のクリエイティブホリデー

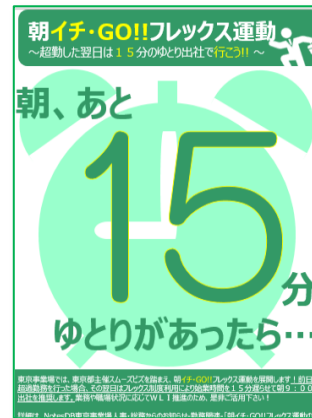
2. 普及啓発

- ポスター掲示や関係会社への働きかけ

3. モノの流れに関する取組

輸送検証実験を実施

- ①国内輸送
 - 輸送時間などのデータ取り
- ②国際輸送
 - 配車やコンテナ積出時間の調整
 - 渋滞回避ルートやフライト調整
- ③過去の国際大会事例の検証



7/26 16:25 状況

〈社内推進体制〉

- 人事部門とSCM部門が両輪となり、製造・調達・営業・秘書・内部統制などの関係部門にも協力を依頼
※SCMとは、サプライチェーンマネジメントの略で物流部門のこと。



関係する部門

〈運用上の工夫〉

- 在宅勤務の促進は、管理職から取り組むのが効果的
- ポスターやサイネージなど視覚的な促進を加えた
- 物流は本番を想定した、計測・実証実験に取り組んだ

〈効果・実績〉

- 管理職の在宅勤務実施アンケートの結果、利用者の30%が通勤時間の有効活用と疲労軽減利用者の23%が集中して業務ができた等と回答し、全体の84%が効果を実感したコメントであった。2020年夏の取組み意向は、モバイルワーク、時差出勤、年休取得を利用するとの回答を得られ、風土醸成のきっかけとなった。
- 輸送検証実験の結果、大きな混乱はなく、スムーズな物品移動ができた。輸送時間の計測にも大きな問題はないことを確認できた。

京王電鉄株式会社



〈問合せ先〉

京王電鉄株式会社 経営企画部

古賀 睦昌 042-337-3035

取組概要

沿線の方々に向けた取組

鉄道の利用者のオフピーク乗車等の取組

- 夕間時間帯の時差通勤を促進することを目的に、「京王ライナー時差Biz号」を新宿発京王八王子行、橋本行でスムーズBiz期間中に臨時運行
- 期間中、合わせてポイントキャンペーンや、福引ゲームを開催し、得点に応じてトレーディングカードをプレゼント
- 「新線新宿駅新都心口」と「中河原駅臨時口」の改札の営業時間を、それぞれ7時30分から6時45分へ、7時から6時30分へ早めた

▼京王ライナー時差Biz号



▼告知媒体

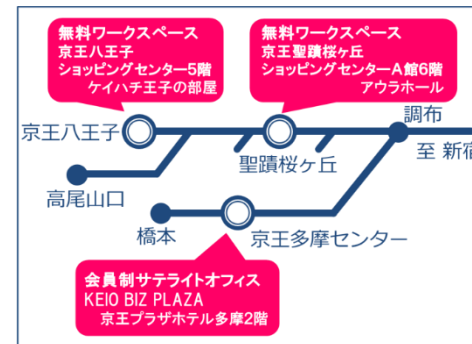


▼トレーディングカード



サテライトオフィス「KEIO BIZ PLAZA」の取組

- 会員制サテライトオフィス「KEIO BIZ PLAZA」にて会員登録なしで手軽に施設を利用できるキャンペーンを展開
- 京王八王子と聖蹟桜ヶ丘のショッピングセンターに無料のワークスペースを設置



▼告知媒体



本社社員に向けた取組

- スムーズBiz期間中に、本社社員に向けて、これまでも推進している「働き方改革」を強化する方向で施策を実施。また新しいワークスタイルを社内に定着させる契機として、各施策に取り組んだ

● 実績結果

取組内容		2019年 (対前年)
【①】本社入退館時刻の変更	7時～8時の間に始業した延べ人数	950人 (+19人)
【②】フレックスタイム制度の利用推奨	定時(18時)前に退社した延べ人数	8741人 (+361人)
【③】サテライトオフィスの利用推奨	延べ利用人数	471人 (+122人)

● 【①】本社入退館時刻の変更

入館時刻を8時→7時へ、退館時刻を22時→21時に変更(21時以降の残業を原則禁止)し、朝型勤務を推奨

● 【②】フレックスタイム制度の利用推奨

スムーズBiz期間中のフレックスタイム制度の利用を推奨するとともに、E-ラーニング等を活用してフレックスタイム制度の活用方法を再周知

● 【③】サテライトオフィス利用推奨

沿線に3か所(新宿・調布・多摩センター)あるサテライトオフィスの利用および外出先への直行・外出先からの直帰を推奨

● 当社の働き方改革に向けた取組

本社勤務者参加型 働き方改革⑥

- これまでの働き方を見直すことで、誰でも健康で安心して働くことができる環境を整備し、仕事に対するモチベーションや業務効率の向上を図る
- 新しいことにチャレンジする意欲の創出や個人のワーク・ライフ・バランスを充実させ、経営の安定やより良い人材の確保・定着につなげる



京浜急行電鉄株式会社



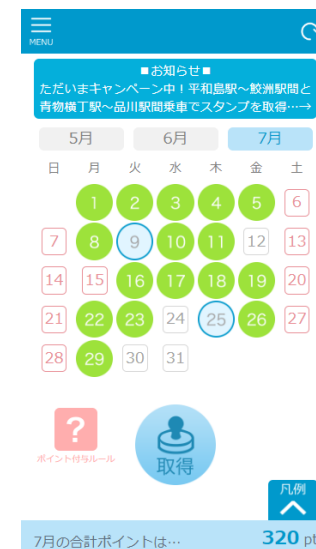
〈問合せ先〉

京浜急行電鉄株式会社 広報部 報道課
045-225-9350

取組概要

従来からの「通勤時間をズラすオフピーク」に加え、「列車種別をズラすオフピーク」出勤の提案。

■ 混雑を平準化できないかというお客さまへの思いから開始



■ アプリ「KQスタンプ」を活用し混雑緩和！



■ 車掌の作業を増やすことなく普通列車に乗車している人だけにポイントを付与！



コニカミノルタ ジャパン株式会社



〈問合せ先〉

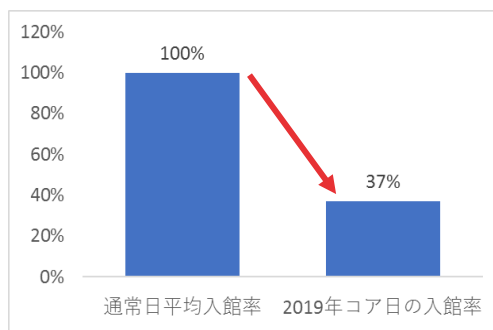
コニカミノルタジャパン株式会社
マーケティング本部 オフィス事業統括部
牧野 陽一 080-9364-2065

取組概要

◆ 人の流れ

① コア日（7/25、9/5、9/6）の 出勤抑制、本社一斉テレワーク

【効果】
浜松町オフィス
通常入館率



② 急なBCP（社配PC非所持時対応）の業務遂行支援

重要なICTコミュニケーション・
コラボレーションシステムに簡単に
アクセス可能な耐水性の名刺
サイズのQRコード票を配布



※本画像では一部を隠しています

◆ 普及活動に関する取組：実績



左には歩道・左に
停止した車向け

後方に停止した
車向けに

社有車にスムーズBizと2020TDMの
推進ステッカーを貼り付けた普及

〈社内推進体制〉

- 経営トップ・人事・総務・情報システム・マーケティング・ソリューション企画・営業・サービス・業務の各部門から参画

〈運用上の工夫〉

- ✓ 出社が必要になる社員数を事前に確認
- ✓ 負荷なく円滑に取り組むために本社一斉テレワーク時の執務室は日毎の入替制で実施

TDMテレワーク 実行委員会 (23社連合)



【問合せ先】

TDMテレワーク実行委員会 アステリア株式会社

TEL:03-5718-1297 FAX:03-5718-1261

E-mail: press@asteria.com

取組概要

「TDMテレワーク」とは 首都圏IT系企業を中心とした23社連合によるテレワーク実施＆推進の取組

来年夏の交通混雑緩和への貢献に対して、中小規模の企業が集まり**各社のノウハウを共有しながらテレワークに取り組み一定の成果をあげる**、ため、アステリア社の呼びかけに応じた23社が連携し「TDMテレワーク」という取組を実施した。



＜参加企業＞株式会社アクティオ、アステリア株式会社、あっと株式会社、株式会社アトラエ、株式会社ヴァル研究所、キーウェアソリューションズ(株)、株式会社クロスコンパス、さくらインターネット株式会社、シックス・アパート株式会社、株式会社ジャパンスコープ (Amel&web ala moda)、ストリートアカデミー株式会社、株式会社ツナグ・ソリューションズ、株式会社TRASTA、株式会社プレシャスパートナース、ボーダー株式会社、株式会社ホワイトプラス、株式会社mannaka、株式会社ユーグレナ、株式会社ラブルマーケティンググループ、ラムリサーチ株式会社、株式会社リンクバル、株式会社ローカルワークス、株式会社Waris

主な取組とその成果 7/22-9/6のスムーズBiz推進期間中、社内テレワーク推奨並びに、発信

- ◆ 7月前半 賛同23社でリモートチームを結成。オンラインでプロジェクト遂行
- ◆ 7月21日 全賛同企業が集まり記者発表会実施
- ◆ 7月26日 子連れテレワーク実施



＜猛暑・台風テレワーク＞ 35度以上の猛暑日予報が出た場合はテレワークを推奨し猛暑日は3-5割の社員がテレワークを実施。台風15号が上陸した際には7名のみが出社し残りの63名はテレワークを実施。
ーアステリア

＜テレワーク利用率向上に＞ 多様な働き方を尊重すべく「さぶりこ」と名付けたテレワークやパラレルキャリアの推進など社員が働きやすい環境、制度の整備に注力。テレワークの利用率が4割から5割超（今夏）にアップした。
ーさくらインターネット

＜個人の裁量でテレワーク実施＞ 台風15号や猛暑、子育てなどの家庭の事情や前後の業務の都合に応じて50名ほどが自由にテレワークを実施。台風時は自宅勤務に切り替え約3時間の作業時間を確保。
ーアトラエ

＜制度・運用を見直すきっかけに＞ テレワークは以前より社内浸透済み。これを期に制度や運用を見直すきっかけができた。台風時にはテレワークを利用した社員が5割程度。電話対応は午後から悪天候時の留守電に切替えた。
ーヴァル研究所

＜他業種の取組が参考に＞ 休暇取得者が半数、時差Biz25名、関東外への出張者が77名など、TDMへの貢献はできた。TDMテレワーク連合では、業種違いの他社での取組が自社での規定の参考に。
ーラムリサーチ

7/16 テレワーク委員会発足

TDMテレワーク実行委員会
7月16日・📍
〳〳〳TDMテレワーク実行委員会が発足！〳〳〳
昨日(7/16)に正式発足した賛同企業23社によるTDMテレワーク実行委員会。私たちが都心の交通混雑緩和を目指したTDMテレワークを推進していきます。昨日の記者会見の後は、賛同企業であるユーグレナさんのミドリムシドリンク片手に委員会のメンバー同士で乾杯しました。上場企業からスタートアップまで、テレワークの浸透も進んでいる企業からこれから取り組む企業と様々ですが、この皆さんと一緒にTDMやテレワークの普及啓発活動を進めていきますのでご注目！ #TDMテレワーク



7/23 子連れテレワーク実証実験

TDMテレワーク実行委員会
7月23日・📍
〳〳〳今夜放送！スーパーJチャンネルにて#TDMテレワーク〳〳〳
7/23 (火) 放送のテレビ朝日「スーパーJチャンネル」にて、23社の賛同企業で実施中の都心の交通混雑緩和を目指す#TDMテレワーク、および#子連れテレワークの取組みが取り上げられます！18:30~19:00頃放送予定です。ご興味のある方はぜひチェックしてくださいませ
私たちの活動を通じて多様な働き方への理解を広めることで、多様な生き方、考え方を抱くみんなが活躍できる社会づくりに繋がっていければと考えています。... もっと見る



夫婦で自宅勤務とファミリーデー

TDMテレワーク実行委員会
8月22日 18:48・📍
〳〳〳夫婦でテレワーク〳〳〳
本日は、キーウェアソリューションズ株式会社で働くご夫婦がテレワークを実施している様子をご紹介します。
旦那様はエンジニア、奥様は人事担当として日々活躍されていますが、普段会社で顔を合わせることは少なく、帰宅の時間もバラバラです。
自宅でお互いにテレワークをすることによって、お昼や通勤時間などを共有し家族の時間に充てることができます。... もっと見る



ロンドンでワーケーション

TDMテレワーク実行委員会
8月26日 0:54・📍
〳〳〳Warisの日常～オフィスと外へ〳〳〳
本日は、株式会社Warisの日常の働き方事情をご紹介します。
Warisでは自由に働く場所を選ぶので、今週はロンドンでワーケーションをするメンバーがいました。... もっと見る



60代ベテラン社員が介護と両立

TDMテレワーク実行委員会
8月5日・📍
〳〳〳テレワークで介護と仕事を両立〳〳〳
本日は、株式会社ローカルワークスで、介護と仕事を両立させているスタッフをご紹介します。
ローカルワークスは建設業界のIT化をすすめるスタートアップ企業です。平均年齢29歳のスタッフの中に、60歳のスタッフが活躍しています。彼は実際に35年間大工や施工管理を経験していた建設業界の大ベテランです。... もっと見る



株式会社伝三郎商会



〈問合せ先〉

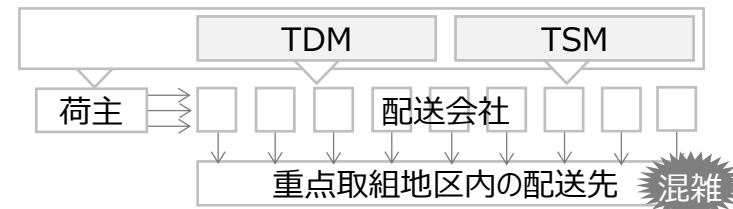
株式会社伝三郎商会
東京事務所 03-5548-0713

取組概要

課題

重点取組地区における、交通混雑緩和

- ・TDMの趣旨を理解し、TSMの実施内容を熟知する事業者は少数
- ・各社が個別に対策を行っても効果は限定的で、混雑緩和は難しい



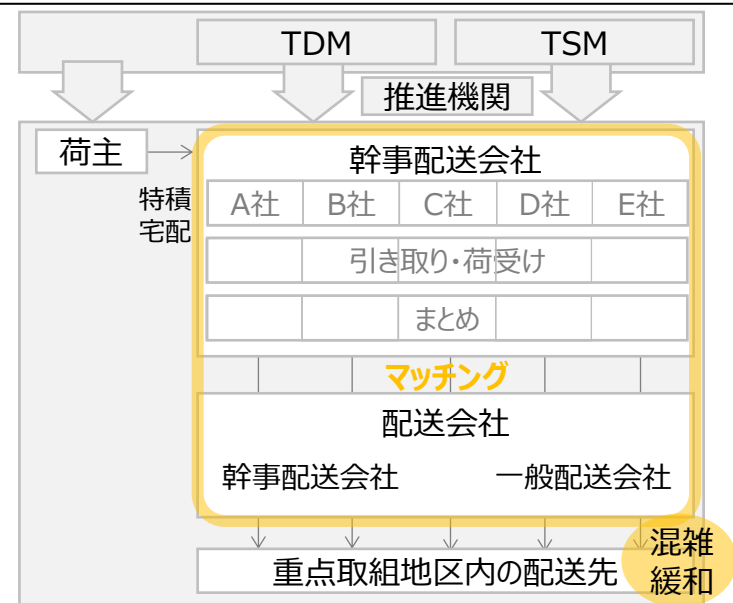
解決策

配送マッチングアプリを使った、新しい配送の仕組み

- ・TDM、TSMを熟知した「幹事配送会社」が配送をコントロール
- ・貨物をまとめ（共配）、混雑時間帯をさけて配送（平準化）
- ・配送の受発注は、マッチングアプリを通して公正かつ公平に行う
- ・「幹事配送会社」は、配送条件を設定し「配送会社」へ配送を依頼
- ・「配送会社」は、配送条件通りに配送することでTDM、TSMに協力

【推進体制】

- ・伝三郎商会：2020年夏、推進機関へマッチングアプリを無償貸与
- ・推進機関：荷主と配送会社に、本仕組みへの参加を呼びかける
幹事配送会社を選定し、配送を取りまとめる



目標

重点取組地区における、車両台数の削減、交通混雑緩和へ

【期待効果】

- | | |
|----------------|----------------|
| ① 配送の波動の平準化 | ④ 合理的で無駄のない取引 |
| ② 受発注業務の効率化 | ⑤ 安心、安全かつ対等な取引 |
| ③ 荷主と配送会社の歩み寄り | |

レガシーとしてのアプリの普及へ
本仕組みが「配送の波動の平準化」に
寄与することにより、今後広域エリアでの
アプリの普及が見込まれ、日本の物流を
より効率化する効果が期待できる。

東武鉄道株式会社



〈問合せ先〉

東武鉄道株式会社 人事部
03-5962-2151

取組概要

集中取組期間における取組

従業員

- 【オフピーク通勤の実践】全本社員の就業時間を一律で繰上げ・繰下げ
- 【休暇の取得奨励】1日単位・時間単位の休暇取得の呼びかけ

物流

- 【頻度削減】自販機納品やごみ回収頻度の削減

普及啓発活動

- 【キャンペーンの実施】時差Biz快適通勤ポイント付与キャンペーンの実施
- 【啓発活動】スムーズBizに対する鉄道利用者への啓発活動を実施



部門を超えてスムーズBizに対する全面的な協力体制を展開

スムーズBizの取組に関して、社内会議や労使の話し合い等を設けて、実効性のある取組にするべく、各施策を展開した



従業員

- オフピーク通勤
のべ9,470人
- 休暇取得
本社員の9割超が
休暇を取得（約700人）

物流

- 飲料自販機の納品回数
のべ36回削減
- 廃棄物回収
のべ14回削減

普及啓発活動

- グループ会社への取組波及 32社
- 時差Bizキャンペーン（朝のスカイリライナー・TJライナー）
対象列車乗車人員 31,791人
- スムーズBizポスター掲示 17駅・1,550両
- フリー広報誌への特集記事掲載 66,300部
- 列車内PR映像放映 9分ごとに1回のポップアップ



凸版印刷(株) 情報コミュニケーション事業本部

TOPPAN

〈問合せ先〉

凸版印刷株式会社 情報コミュニケーション事業本部
総務部 瀧野 03-5840-3111

取組概要

人の流れ
に関する取組

▶ オフピークへの取組（働き方改革）



モノの流れ
に関する取組

▶ BCP推進部門を中心に物流会社も含めたプロジェクトを編成

既存BCPの品目重要度から都心に納入している 対象業務把握
特定業務の得意先様にTDMに対する 得意先意識・動向調査

普及啓発
に関する取組

▶ ポスター掲示、販売部門への意識付け

広範囲な得意先様への意識・動向調査で 販売部門への意識付け

社内
TDM
プロジェクト

浜松町駅周辺TDMプロジェクト



〈問合せ先〉

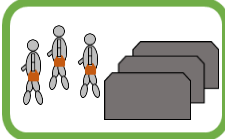
東京ガス株式会社 東京2020オリ・パラ推進部
担当：芳賀、木内 03-5400-3813
東日本旅客鉄道株式会社 総合企画本部
担当：大野、村井 03-5334-1119

取組概要

■ JR浜松町駅を利用する近隣各社と協力した混雑緩和に向けた取組

目標：東京2020大会に向けた取組として、JR浜松町駅における「午前8時台の10%程度の混雑緩和」

人の流れに関する取組



駅の混雑緩和

- ① 浜松町駅周辺TDMプロジェクトの発足（他企業への働きかけ）
- ② プロジェクト参加企業によるトライアル集中実施。
（①休暇取得、②テレワーク、③時差出勤など各社状況に応じて参画）
- ③ プロジェクト参加企業のトライアル結果の把握・大会時の取組に反映。

・お客さまへの
フィードバック掲示

普及啓発に関する取組



ポケットティッシュ
配布等による
普及啓発活動

- ① ポスターの掲出およびアナウンスの実施。
- ② 駅構内でのポケットティッシュの配布を実施。（時差出勤のご協力依頼を記載）
- ③ 駅ご利用者への取組み結果のフィードバックの実施（ポスター掲出）



〈PJ推進体制〉

- ・7月24日に休暇取得、テレワーク、時差出勤等を実施

浜松町駅近隣各社

フィードバック

JR東日本

効果検証

東京ガス

- ・近隣各社への呼びかけ
- ・駅での混雑緩和の呼びかけ
- ・駅の利用状況特別調査、検証
- ・近隣各社への呼びかけ
- ・休暇取得、テレワーク等の実施
- ・効果検証・改善策検討

〈実績・効果〉 企業連携により大きな効果

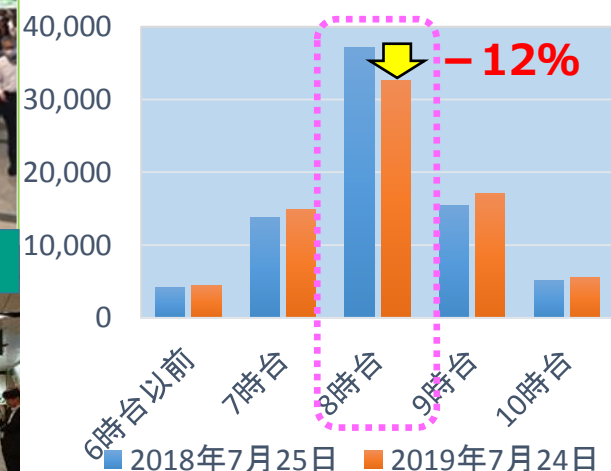
7月17日8時台



7月24日8時台



時間別駅ご利用者数



MINDS

MINDS

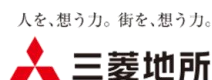
〈問合せ先〉

日本マイクロソフト株式会社
マーケティング&オペレーション本部
山本 築 03-4332-5300

取組概要

異業種連携によるミレニアル世代の働き方改革推進コミュニティ

MINDS (Millennial Innovation for the Next Diverse Society)



Mission

すべての個人が自分らしく
働く社会を実現する

Vision

業界、会社の枠を超えたミレニアル世代から
多様な働き方を日本社会に浸透させる

職場環境

時間・場所に制約されない
柔軟な働き方

和歌山県での
ワーケーションの実証実験

知

わくわく”学び続ける
マインドセット

ミレニアル世代限定の
キャリアセミナー開催

所属

一生一社でない
柔軟な所属の仕方

パラレルキャリアの考察
インタビュー実施

評価軸

一次元でない
多次元的な評価軸

360度評価の実施

満足度

多様な“チョイス”できる
働き方のモチベーション

世代間での
モチベーションの可視化

業界、会社の枠を超えたミレニアル世代が多様なコミュニティで創造性を高め
日本社会のイノベーション創出に対してNew Work Style を実行する

吉江社会保険労務士事務所



〈問合せ先〉

吉江社会保険労務士事務所

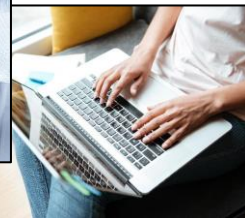
吉江修 090-1607-2198

取組概要

- ・完全オフピーク
- ・テレワーク/サードプレイス業務促進
- ・コピー、印刷の抑制に伴うゴミ排出量の削減
- ・HP取組提示等顧客理解促進

なぜ取り組んだのか

- ・土業の「紙文化」への将来的な懸念
- ・全国対応が求められる業務上の機動力
- ・少数であるが故のどこにいても業務対応が必要



スムーズBizは事業運営上
マストな取組みであった

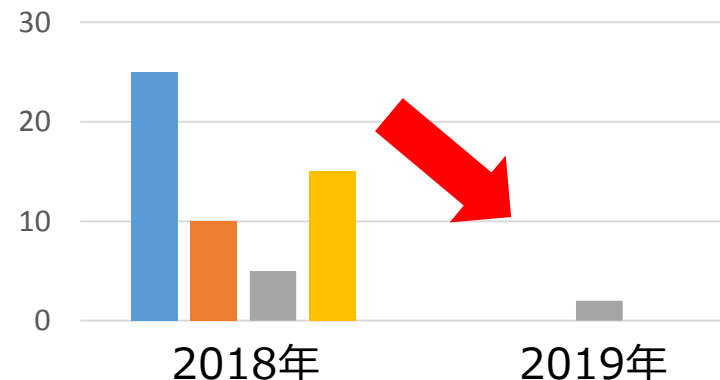
テレワークなどはすでに複数企業への導入実績があったため、制度自体は小規模転用を図るだけ

〈運用上の工夫〉

- ・ビデオ会議推進による
生産性への影響対応
- ・電子契約～電子請求など
業務を電子化
- ・行政書類も電子認証取得
による電子申請化

〈効果・実績※2018年→2019年測定時期〉

- ・**ピーク時移動**：25回→0回
- ・**印刷回数**：10回→0回
(完全ペーパーレス)
- ・**電子外契約**：5件→1件
(公共団体のため先方様式を優先)
- ・**電子外請求**：15件→0件
(全クライアントの協力)



小さな企業でも工夫次第で様々な取組みが可能であり、個人事業主や土業一人一人の広がりにより大きな力に行きたい